

鎌ヶ谷市公共施設エコアクションプラン
 ～鎌ヶ谷市地球温暖化対策実行計画（事務事業）～の推進に係る
 平成30年度部署（施設）別取組目標の実施結果について

鎌ヶ谷市エコアクションプラン初年度となる平成30年度に取組目標を設定した59部署（施設）すべてから一年間の取組の実施状況、重点目標の達成度を自己評価してもらいその結果を集計した。

1 評価基準

評価は、A・B・C・Dの4つの区分とした。

A	よく実施できた	(実行率 80%以上)
B	概ね実施できた	(実行率 50～80%未満)
C	あまり実施できなかった	(実行率 20～50%未満)
D	ほとんど実施できなかった	(実行率 20%未満)

2 目標の内訳

電気使用量の削減、電気機器の適正使用 など	24件
冷暖房の適正使用、光熱水費の削減 など	15件
照明の適正使用、照明器具の制御システムの導入 など	13件
時間外勤務の削減	8件
用紙使用量の削減、紙の廃棄量削減 など	6件
公用車の適切な運行、ガソリン使用量の削減 など	4件

※1つの目標の中に複数の項目に関連する内容がある場合には、それぞれカウント

3 部署（施設）別取組結果

別途「平成30年度部署（施設）別達成度評価結果一覧」のとおり

4 目標達成度評価の考察

重点目標の達成度において、A評価は全体の53.6%、B評価は36.2%、C評価は7.3%、D評価は2.9%であった。

よって、実施できたとするA・B評価が全体の90%に迫る結果となった。

電気使用量の削減を目標に掲げていた部署（施設）の中には、猛暑の影響から利用者の熱中症防止対策として、やむなく冷房の設定温度を下げ電気使用量が増加した例も見受けられたが、全体としては、計画初年度にもかかわらず、鎌ヶ谷市公共施設エコアクションプランの主旨である、「市が事務事業により排出する温室効果ガスの削減」という目標に向けて、各所属で掲げた活動目標は概ね達成されたものとする。